

県立塚山公園 平成22年度実績報告書



桜と針灸のゆかりを大切に、さくらと眺望を活かした景勝地の創造



公益財団法人神奈川県公園協会
県立塚山公園保存会グループ

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 塚山公園

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

区分	事業計画書の内容		実施計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
1 施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針										
										補足資料
さくらと眺望等自然景観の保全と活用		さくらの名所として適切な保全管理を行い、その魅力の継承	○	○	●	●	●	園内のサクラの枯損木、枯れ枝等を除去。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。	
		照葉樹林の適切な樹林管理を行い、魅力的な展望の場の確保	○	○	●	●	●	展望を確保の照葉樹林の間伐を継続実施。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。	
		山野草などの四季を楽しめる花修景づくり	○	○	●	●	●	山野草の植生分布データベースを継続実施。	今後も継続して高品位な公園管理に努める。	
利用者が安全安心で快適に過ごせる施設の提供		公の施設としての信頼に応える安全・安心な施設管理	○	○	●	●	●	毎日の点検パトロールの実施による施設の安全確保を実施	今後も継続実施。	
		ハイキング利用者の拠点施設としての利用促進	○	○	●	●	●	休憩施設の清掃をきめ細かく実施し施設の快適性を維持。	公園周辺部へ公園利用のPRを推進。	
「地域の誇り」として桜の由来を次代につなげる公園づくり		トイレ、四阿の公園施設を常に清潔に、来園者の心の交流を大切に管理運営	○	○	●	●	●	毎日最低1回の清掃と園内に咲く草花の一輪挿しをトイレ内に飾り利用者の心を和ませた。	今後も継続実施。	
		国指定史跡「桜塚」を地域の象徴とした管理運営	○	○	●	●	●	地元「桜のまち逸見を愛する会」と今後の連携のあり方について協議した。	歴史テーマにしたガイドツアーの企画を具体的に検討。	
		桜の歴史を次代に継承する積極的な広報の実施	○	○	●	●	●	避難場所確保のための広場除草を実施。	災害用備蓄品の拡充を図る。	
2 本公園の管理に向けた参加意欲及び負担等										
										補足資料
さくらや四季の変化を楽しむことのできる公園づくり		さくらの樹勢回復と補植	○	○	●	●	●	老木については樹勢回復の施肥を実施。地元自治会が60周年記念でサクラの苗木を寄贈。	今後もサクラの苗木植栽により老木の更新の実施。	
		四季の楽しみとなる植物の育成と導入	○	○	●	●	●	地元婦人会の協力による花壇花苗を継続実施	今後も継続実施。	
桜の由来を大切に地域で育ててきた公園づくりの継承		桜とのゆかりを伝え史跡環境を保全	○	○	●	●	●	地元横須賀市と連携した供養塔の管理を実施。	地元の各団体との連携を強化しながらPRを推進。	
		地域で大切にしている公園づくりの気持ちを伝達	○	○	●	●	●	地元「桜のまち逸見を愛する会」と連携した桜のPR。	観察会時に桜塚の説明を保存会会員が実施。	
県内有数の眺望と三浦半島での健康ハイキングを堪能できる公園づくり		眺望景観の保全	○	○	●	●	●	展望を確保するための間伐、枝おろしを実施	景観と眺望の両立を図る伐採を継続。	
		安全で安心な施設管理	○	○	●	●	●	毎日の点検パトロールの実施による施設の安全確保を実施。	今後も継続実施。	
地域と連携・協働した四季の彩りを楽しむ行事の開催による人との交流の輪の拡大		四季の彩りを楽しむ公園祭り	○	○	●	●	●	地元各種団体との相互協力による「桜祭」「さくら祭り」「鹿島神社例大祭」等の実施	利用促進行事の推進。	
3 本公園における特性と課題を踏まえた維持管理の考え方										
										補足資料
サクラの活力の回復、景観向上		枯れ枝、支障枝、テングス病の除去等を的確に実施し、樹木の更新方法を確立	○	○	●	●	●	サクラの危険木の伐採。苗木の植栽を行いサクラの更新を継続実施。	倒木の危険性のある老木の伐採と苗木植栽による更新を今後も継続。	
眺望の確保		眺望を確保するための景観に配慮した間伐や伐採	○	○	●	●	●	展望を確保の照葉樹林の間伐を継続実施。	今後も継続実施。	
草花・花木による魅力づくり		山野草の保護育成と四季折々の彩りが感じられる花壇管理	○	○	●	●	●	山野草の植生分布データベースを継続実施。	デジタルによるアーカイブ化の推進。	
		山野草の保護育成に配慮した除草管理	○	○	●	●	●	山野草の出現記録をデータベース化し維持管理に反映。	今後も継続実施。	
安全で快適な利用環境の提供のための管理		管理水準以上の除草管理	○	○	●	●	●	毎月会員全員による臨時作業を実施し、効率的な除草管理を実施。	過去の管理履歴から最適な作業時期に実施。	
		チェックリストによる点検パトロールの実施	○	○	●	●	●	チェックリストによる抜けのない点検の実施。	チェックリストの更新を実施。	
		おもてなしの心で清潔・快適なトイレ清掃	○	○	●	●	●	毎日最低1回の清掃と園内に咲く草花の一輪挿しをトイレ内に飾り利用者の心を和ませた。	今後も継続実施。	
省エネルギー対策		時期に応じたトイレの洗浄水の設定と園路灯の点灯時間の設定	○	○	●	●	●	季節に応じた最適な設定を実施した。	今後も継続実施。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 塚山公園

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

区分	事業計画書の内容		実施計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
5 執行体制の内容 補足資料										
	本部と現地の役割分担	本部に統括管理部門を、現地に公園管理事務所を置き、方針決定や総務・会計及び業務執行等並びに県や関係機関との連絡調整などの重要事項は現地事務所と本部が連携して適切な管理運営を実施	○	○	●	●	●	日常の連絡調整や毎月1回の定例会議、連絡会議等の実施により、公園と協会本部が連携を図り、適切な管理運営業務を実施した。	「公園管理運営自己評価システム」や外部特別指導員等による業務点検など、協会全体で実施する事業も引続き取り入れ、本部と調整を図りながらコスト削減に努め、効率的・効果的な管理運営を遂行していく。	
	現地の職員配置	公園の統括責任者である園長の下、公園管理運営スタッフが一体となった業務の遂行	○	○	●	●	●	統括責任者としての常勤園長の下、スタッフが一体となって管理運営業務を遂行した。	園長を統括責任者としたスタッフ体制により組織の円滑な推進を図っていく。	
	業務の一部委託	事業計画書の「委託業務予定一覧表」に基づき、スタッフの安全面や効果性、効率性の観点から一部業務の外部委託を実施	○	○	●	●	●	高所作業、浄化槽、ゴミ処理等を外部委託により実施した。	公園協会の規程に基づく委託業者選定・チェック・指導監督を適切に行い、安全で効果的な委託業務の実施に努めていく。	
6 緊急時の体制 補足資料										
	事故や災害発生時などの緊急時の体制及び初期対応	事件、事故発生の場合	○	○	●	●	●	緊急連絡表を作成し、管理事務所内に掲示し対応	緊急連絡表を最新に更新しながら対応。	
		大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生が予測される場合	○	○	●	●	●	災害が予測される場合は、常時気象情報に注視し迅速な対応を心掛けた。	今後も継続実施。	
		大雨、暴風、落雷、大雪等による災害が発生した場合	○	○	●	●	●	平成21年度は、園内において大雨、暴風、落雷、大雪等による災害発生はなかった。	今後も気象災害に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
		大地震が発生した場合	○	○	●	●	●	本公園が位置する地域において震度5以上の大地震の発生はなかった。	大地震に備えたスタッフ体制、連絡体制を今後も維持していく。	
	災害時に備えた日常対応	朝礼やミーティングを通じて日常より情報の共有、意識の統一	○	○	●	●	●	毎朝の朝礼や、月1回のスタッフ全員のミーティングを通じて情報の共有、全員の意識統一を図った。	日常のスタッフ間の情報伝達を円滑に行い、災害時に備えた意識統一を進めていく。	
		管理事務所内へのAEDの常備	○	○	●	●	●	管理事務所内にAEDを設置し毎月バッテリーの点検を実施中	AEDの定期的な点検、作動方法のスタッフ講習を定期的に実施予定。	
		防災訓練、救命講習の年1回以上の実施	○	○	●	●	●	公園主任が救命講習を受講	今後も継続実施。	
		防災設備の定期稼働点検	○	○	●	●	●	救急箱の点検と備品の入替	今後も継続実施。	
7 人材の育成計画 補足資料										
	公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての考え方(方針)	・技術力と機動性のあるマルチスタッフの育成	○	○	●	●	●	・昨年度より実施してきた研修プログラムを、5年間の方針に基づき適宜実施し、更なる内容の充実を図った。具体的実施内容は以下のとおり。	私たちのノウハウでもある、 ①「公の心」を育み、愛される質の高い公園づくり ②かながわの郷土愛の醸成、新しい喜びの公園づくり ③人と地域とともに育つ公園づくり ④多様な生物が育む資源循環型の公園づくり これらをさらに強化するよう、現在の研修プログラムを見直し内容の充実、PDCAによる公園の品質管理の向上、また時代のニーズに沿った柔軟な発想での新たな研修プログラムの導入により、職員の資質向上を図るとともに、研修方針の実現に努めていく。	
		・外部評価員による職員教育と自己評価による資質向上	○	○	●	●	●	◆グリーンサポート事業 接遇、造園、花卉園芸、公園管理運営の各分野を専門とする5名のグリーンサポート特別指導員が、第三者的視点による公園の巡回点検や技術指導を行った。		
		・新たな研修プログラムの導入	○	○	●	●	●	◆公園管理自己評価システム 当協会の「自己評価システム運営要綱」に基づき、四半期毎に自己評価会議、及び外部評価員によるヒアリング等を実施し、職員間で事業計画の確認、確実実施、履行確認を行った。 さらにその中から改善点を見出し、改善目標の設定		
		・新たな研修プログラムの導入	○	○	●	●	●	・当協会全体研修として公園利用の多様化に定めるため、ボランティアコーディネート研修を実施した。		
	接遇研修の実施		○	○	●	●	●	・毎日の朝礼(もしくは昼礼)により、公園行事等利用確認、作業の安全確認、伝達事項等、園内情報の共有を行うとともに、挨拶唱和を実施し、気持ちの良い接遇の日常化を目指した。	今後も継続して朝礼を実施し、気持ちの良い接遇対応の徹底を図るとともに、利用者への対応で提案している、「パークコンシェルジュ」を目指す。また、ロールプレイの継続実施により、的確な初期対応を確立する。	
			○	○	●	●	●	グリーンサポート特別指導員により、新規採用者等の接遇研修(挨拶・会話等の教育指導)を昨年度に引き続き実施し、より質の高い意識と接客対応を目指した。		
			○	○	●	●	●	新たな研修プログラムの導入として、グリーンサポート特別指導員による、ボランティア研修を実施した。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 塚山公園

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

区分	提案項目	事業計画書の内容 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	実施計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
			H21	H22	H23	H24	H25			
公園の管理運営に携わる職員の資質向上についての具体的な計画	事務処理研修の実施		○	○	●	●	●	・確実に迅速な事務処理を実施するため、本部職員による事務処理研修、担当者会議（副園長会議、利用促進担当者会議等）を行った。	業務の効率化及び事故防止の観点から、今後も定期的を実施する。	
			○	○	●	●	●	・個人情報取扱いについては、接遇リーダー研修において周知徹底を図った。	説明会や勉強会を実施し、個人情報の取扱についての意識の情勢を図る。	
	安全管理研修の実施		○	○	●	●	●	緊急時対応として、的確な連絡対応を行うための連絡網の見直しを実施した。	発災時の的確な行動の担保及び、二次災害等防止のための訓練を実施する。	
			○	○	●	●	●	・公園協会全体講習として、新規職員、資格更新職員を対象に上級救命講習を実施し、応急処置・AEDの取扱方法等を受講した。	今後も継続的に受講し、職員の知識を一定レベルに保つ。	
			○	○	●	●	●	・遊具での事故を未然に防ぐため、公園管理主任を対象に、(社)日本公園緑地協会ほか主催の「遊具の日常点検講習会」を受講した。合わせて、受講した管理主任をリーダーとし、所属のパート職員にOJTを実施した。	・定期的なOJTによる知識レベルの維持及び平準化と、点検不備・事故ゼロを目指す。	
			○	○	●	●	●	労働安全衛生研修として、新規採用の公園主任は民間の技術教習所において、刈払機安全講習を受講し、作業リーダーとして所属のパート職員にOJTを実施した。	・スタッフの入れ替え等必要に応じ、民間技術教習所で特別講習を受講し、受講した職員によるOJTにより、職員の労働安全を確保する。	
			○	○	●	●	●	・労務上の事故防止を目的に、民間の技術教習所において、チェーンソー特別講習を受講した。	スタッフの入替え等必要に応じ、民間技術教習所で特別講習を受講し、作業上の事故を未然に防ぐ意識を醸成する。	
			○	○	●	●	●	・職場内におけるKYT（危険予知トレーニング）を適宜実施し、労働上の事故防止及を実施した。【また、公園ごとに実施した場合は追加記載】	・公園主任をリーダーとし、KYTを定常的に実施し、労働災害・事故ゼロを目指す。	
	植物管理研修の実施		○	○	●	●	●	・樹木の適正管理、及び魅力的な花景観の創出等を目的に、グリーンサポート特別指導員による各種研修を実施した。 ・樹木等の適正管理及び薬剤使用の安全確保を目的に、県農業技術センター主催の防除関係者講習会を受講した。	公園全体のより良い景観づくりを目指し、研修を実施する。	
			○	○	●	●	●	植物管理に関わる公園ごとに実施した研修（グリーンサポート個別指導など）記載	スタッフの入替え等必要に応じ受講し、薬剤の確実な安全使用を実施する。	
	公園マネジメント研修の実施		○	○	●	●	●	・外部セミナー等への参加として、(財)公園緑地管理財団や(社)日本公園緑地協会主催の講習会等に対象職員を参加させ、情報の共有及び各公園への伝達により効果的効率的な公園の運営管理を実施した。	職員のスキルアップとして定期的を受講し、より効果的効率的な公園の運営管理を目指す。	
			○	○	●	●	●	・園長が主体となり、所属職員の意識改革及び業務確認、ならびに安全確認、進捗状況の確認を目的としたミーティング（全体会議）を月例で実施した。	今後も、所属職員に公園管理運営方針と実施方法等を浸透させ、提案事項の確実実施を目指す。	
利用促進研修の実施		○	○	●	●	●	グリーンサポート指導員によるボランティアコーディネート研修を実施し、ボランティア導入に対する基本体制を整えた	サービス向上と利用者の安全確保を目標とし、ボランティアの安全確保や対応方法等のノウハウを習得する。		

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 塚山公園

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

区分	事業計画書の内容		実施計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25			
9 公園の安全管理 補足資料										
園内施設全般の安全管理方策	各種施設点検の実施		○	○	●	●	●	施設点検パトロールを9月に実施した。	今後も継続実施。	
	各種マニュアルの活用と整備		○	○	●	●	●	マニュアル以上の安全点検を実施。	今後も継続実施。	
	点検と連動した速やかな施設修繕の実施		○	○	●	●	●	直営による発見即対応による施設修繕を実施。	今後も継続実施。	
	施設賠償責任保険への加入		○	○	●	●	●	加入済み。	今後も継続実施。	
主な施設の安全管理方策	危険な生物と対処を学ぶ研修会の実施		▲	○	●	●	●	危険な生物のマニュアル本を設置し、職員へ周知	注意意識の継続	
	遊具点検に関する研修会の実施		▲	▲	●	●	●	研修会の実施予定がなかった。	実施に向けて検討。	
	各種警報発令解除後に安全点検パトロールを実施		○	○	●	●	●	常時警報後には迅速にパトロールを実施した。	今後も継続実施。	
施設運営面での完全管理方策	作業スタッフの安全確保		○	○	●	●	●	KYT思想に基づき安全を確保。	今後も継続実施。	
	利用者に対する安全確保		○	○	●	●	●	作業時には周囲の安全に注意を払いカラーコーン等で安全距離を確保して実施。	今後も継続実施。	
	ボランティア活動における安全確保		○	○	●	●	●	自己管理、自己責任で対応	ボランティア保険加入についての検討	
防犯対策の実施	昼間の防犯対策： 利用者との連絡体制の確保・維持管理上の配慮・地域との連携・年末年始の防犯体制の確保		○	○	●	●	●	地元町内会に会員にもなっている保存会会員による地域パトロールを実施	今後も継続実施。	
	夜間の防犯体制： 警備業者による園内巡回警備・警備業者への指導、連絡体制の徹底		○	○	●	●	●	地域の防災パトロールと地元警察の巡回による安全確保	今後も継続実施。	
10 利用者への対応 補足資料										
接遇対応及びその研修等	改善に向けた取り組み： 朝礼でのあいさつ唱和・内部研修等による公園及びその周辺情報の取得・特別指導員による接遇研修と接客対応評価指導		○	○	●	●	●	年間を通じて各種研修へ管理スタッフが参加。	今後も管理員の意識向上の研修を実施。	
苦情処理の対応及びその研修等	苦情・要望の記録と土木事務所への報告		○	○	●	●	●	毎月月報にて報告。	今後も継続報告。	
	公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムを構築		○	○	●	●	●	苦情要望のデータベースシステムで本部での一元管理を実施した。	苦情要望データベースシステムを活用し、苦情対応ロールプレイ研修の充実を図る。	
利用者への公園利用指導及びその研修等	苦情対応のロールプレイング研修の実施や他の公園職員との合同勉強会の開催		○	○	●	●	●	グリーンサポート指導員の覆面調査員による接遇点検を実施。	今後も実施予定。	
	パンフレットやウェブサイトによる、親切丁寧な有料施設等の受付案内		○	○	●	●	●	公園ホームページを定期的に更新し情報を公開。	今後も継続実施。	
利用者ニーズの把握と反映	関係法令やルールに関わる内部研修の実施や、他公園との合同勉強会による事例と情報の共有		○	○	●	●	●	副園長会議等の実務担当者レベル研修を実施し、他公園とも横断的に情報を共有した	今後も継続実施。	
	日々のコミュニケーションや電話、手紙、メール、アンケート等による意見の把握と反映、改善		○	○	●	●	●	アンケートを適宜実施し、管理運営に反映。	今後も継続実施予定。	
	外部評価による評価と業務改善		○	○	●	●	●	グリーンサポート指導員の指導報告に基づき指摘された問題点を改善。	今後も継続実施予定。	

指定管理者管理運営実施状況表

公園名： 塚山公園

○：実施済 ●：実施予定 △：調整中 ▲：未実施

区分	事業計画書の内容		実施計画					平成22年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25				
1 1	利用促進方策 補足資料										
	利用促進のためのイベントの開催	按針に思いを馳せる交流会	○	○	●	●	●	地元「按針のまち逸見を愛する会」と連携した按針のPR。	観察会時に按針塚の説明を保存会会員が実施。		
		ビューポイント撮影会	△	△	●	●	●	計画を策定中	具体的な実施に向けた検討を行う。		
		塚山公園を拠点とする3世代ハイキング	△	△	●	●	●	計画を策定中	具体的な実施に向けた検討を行う。		
	利用促進のための広報について	公園ホームページの開設と運用	○	○	●	●	●	公園ホームページを開設し、タイムリー情報やイベントの募集案内を実施し効果を得た。	内容の更なる充実を図る。		
		外部有料広告の活用	○	○	●	●	●	イベントの参加募集案内をミニコミ誌（タウンニュース）に有料広告を実施し効果を上げた。	今後も継続実施予定。		
1 2	自主事業の運営 補足資料										
	自動販売機の設置	利用者の利便性と景観等に配慮した自動販売機の設置	○	○	●	●	●	自動販売機は既に2基を設置して利用者に提供。	今後増設が必要か検討。		
1 3	地域や関係機関との連携 補足資料										
	県民及び住民参加、ボランティア団体による協働	地元ボランティアとの協働	○	○	●	●	●	地元青年会、壮年会による清掃活動の実施	ボランティア活動導入に向けた受入体制の確保。		
		町内会、観光協会との協働	○	○	●	●	●	地元婦人会と連携した花壇管理の実施	地元観光協会へのアプローチを検討。		
		市民団体との協働	○	○	●	●	●	地元連合町内会との連携による各種行事の開催	毎年開催に向けて調整。		
	地域への貢献	(社) 観音崎自然博物館との連携	○	○	●	●	●	観察会を4回実施し保存会との連携を強化	希少山野草の保護育成に向けた連携強化。		
		按針祭、さくら祭り開催時の地元団体との連携	○	○	●	●	●	塚山保存会が中心となり会場設営協力	地元団体とも今後も密な連携を推進		
	関係機関との連携	横須賀市観光協会との連携	○	○	●	●	●	横須賀市観光ボランティアが公園内の按針塚を案内	保存会との連携も含めて按針塚の歴史的価値を推進		
		最寄り駅「安針塚」「逸見」駅での京急との連携	○	○	●	●	●	「按針祭」での案内看板の設置等による協力	利用者接遇向上に向けた研修の実施。		